

## 2024年度 学校評価（自己評価・学校関係者評価）報告書

学校法人 愛真幼稚園

### 1. 本園の教育目標

幼子が神から与えられた自然の中で、「あそび保育」を通して、豊かな感性、観察力、創造性、社会性を身に付け、成長していく手助けをする

### 2. 本年度の重点目標

自然にたくさん触れることで心身をたくましくし、いきいきと遊ぶ子どもを育む

### 3. 評価項目の達成状況および取組み状況と結果

評価 A: 達成している B: 一部達成している C: 一部改善を要する D: 改善を要する

評価項目	評価	取組み状況・結果
山や川、畑などで自然に親しみ、健康な心と体を成長させる	B	園外保育の実施にあたって担任等の教職員が必ず下見を行い、注意が必要な場所については写真や動画で情報共有するとともに、対策を含めて保護者に事前に周知した。園児が園外保育を楽しみながら自然に対する興味を高め、逞しい心と体が成長した。さらに、自然を愛し、大切にしようと思う心が育つように努めたい。
園児一人一人の自発的な遊びの中で、生きる力や社会性を身に付ける保育を展開する	B	園児一人一人の運動能力や体力を見極めて遊びを見守り、園児が友達と協調して行動できる環境を作った。園児が自分の気持ちを素直に表しつつ友達と遊びを共有し、一人一人が自分で考えて行動するようになった。しかし、園児一人一人が友達の気持ちに気付こうとするまでには至らなかった。
園児がのびのびと安心して遊べる環境を作る	A	園児の発達段階に応じた多様な遊具等を園庭に設置し、その破損や不具合を定期的に点検した。園児が園庭にいる時は複数かつ充分な人数の教職員が連携して見守り、細やかに意思疎通を図った。園児が園庭を思い切り走り回ったり、新たな遊びを工夫したりするようになり、チャレンジ精神も高まった。
園の安全管理体制を充実させる	B	危機管理マニュアル等を整備し、継続的に見直した。ヒヤリハット事例は直ちに情報共有し、職員全員が安全管理研修を受講した。園児の体調不良等への教職員の対応がスムーズになり、安全意識も高まった。ヒヤリハットの発生頻度が低下するように更に努めたい。
食の安心安全を確保するとともに、園児に食の大切さを伝える	B	食物アレルギーや食習慣、発育・発達に応じて個別に配慮した給食を提供し、楽しく食事ができる雰囲気づくりをした。野菜を園で育て、園児も調理に参加するなど、食文化を伝える工夫を行った。園児が給食の時間を楽しみ、献立や食べ物に興味を持つようになった。
家庭との連絡を密にし、園での様子を情報発信する	B	スマホアプリを用いて家庭への連絡をこまめに行い、園児の様子を写真や動画で配信した。また、園児の体調不良やケガ等があれば保護者に連絡した。園での様子に保護者の安心感が得られ、家庭とのコミュニケーションがよく図られるようになった。多くの教職員が効果的な情報発信を担当できるように、研修の機会を設けたい。

通園バスの利便性を高め、安心・快適な運行を確保する	A	乗車確認名簿を用いて園児の乗降を確認し、出欠等を担任や教職員と情報共有するとともに、園バスに置去り防止装置や車内外モニタ等を設置して安全確保を充実させた。また、運行状況をリアルタイムで保護者に伝えた。園バスとの連絡や確認がし易く、バス停での待ち時間が短くなって、保護者の安心感も高まった。
---------------------------	---	--

#### 4. 総合的な評価結果

評価 A: 達成している B: 一部達成している C: 一部改善を要する D: 改善を要する

評価	理由
B	本年度の重点目標「自然にたくさん触れることで心身をたくましくし、いきいきと遊ぶ子どもを育む」に関連する項目を中心に、園の安全管理体制、食の安心安全と食育、家庭との連絡や通園バスの安全性・利便性について評価を行った。保護者アンケートの結果は概ね良好であったが、教職員による自己評価では達成できていない取組指標・成果指標も確認された。教職員の研修等や日頃の実践を通してさらに研鑽を積み、保育の質の向上を図る重要性を確認した。

#### 5. 今後に取り組む課題

課題	具体的な取組み方法
自然保育	自然を愛する心と逞しい体を育むために、園児の成長に合わせた園外保育について研修し、計画・実施方法等を学ぶ
特別支援教育	園内における特別支援教育の体制を整備し、行動分析やアセスメントの結果を教職員で共通理解してティーム保育を進める。
子育て支援	未就園児のためのプレイルームやイベントを充実・発展させ、子育て相談など地域の未就園児親子への支援を拡充する。

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

園の自然教育目標は概ね達成されており、昨年より園外保育が充実し保護者の満足度も高く、先生方に感謝しています。のびのび過ごせる環境である反面、安全管理への不安もあるため、さらなる人員配置を検討していただきたいと思います。それにより保護者とのコミュニケーションがとれる時間も増えることを期待します。今後も子どもたちを思い、新たな試みに挑戦しながら、保育内容を工夫していただければと思います。

学校関係者評価委員 牛尾 健斗

学校関係者評価委員 山添 真理子

学校関係者評価委員 川口 恵

学校関係者評価委員 馬嶋 絵梨

学校関係者評価委員 田中 (まなみ)

学校関係者評価委員 谷尾 由貴

学校関係者評価委員 衣川 菜美

学校関係者評価委員 田中 環紗子

委員会実施日 2025年2月20日

## 2024年度 学校評価（第三者評価）報告書

令和7年3月13日に学校評価（第三者評価）委員会を開催し、2024年度における愛真幼稚園の保育・教育活動に関して評価した。本評価は「幼稚園における学校評価ガイドライン」（文部科学省）に則り、自己評価や学校関係者評価の実施状況も踏まえつつ、教育活動その他の学校運営の状況について、専門的視点から評価を行うものである。評価の結果を以下にまとめる。

### ■教育課程の計画と実施状況について

日常の教育実践は、幼稚園教育要領の5領域に渡って、園の特色である「あそびの保育」の形で計画されている。「特色ある保育」のキリスト教保育・あそび保育・自然保育など、理念や目的など教育プランが明示されており、自然体験、野外保育、多様な樹木・実のなる樹木、砂や土・粘土などによる遊びの体験など、教育活動・指導が教職員の工夫によって展開されている。また、行事が多彩に工夫・設定されている。子どもは行事によって育つ面があり、大切な活動である。儀式・社会・宗教・健康安全・文化娯楽など、子どもの生活と成長変化のバランスを考慮して設定されると認められる。

### ■保育の質の向上に向けて

自然に親しむことを大切にして園外保育を積極的に行っていること、安心・安全で自然豊かな環境を構成して子どもの主体性を大切にした見守る保育を実践していること、さらには、毎日、全教職員で教師会をもち、よりよい保育を目指して園児の情報を共有し、保育の課題について話し合いを行っていることについて高く評価する。また、その記録も整えられていることは評価できる。

教師会における振り返りは、子どもの改善すべき気になる行動といった観点からの記録が多く記されているように見受けられる。今後もさらに、教職員集団で話し合い、子どもの気になる行動の背景にある思いや願いに心を寄せ、発達的な視点からの理解を深めることで、より一層充実した保育支援が展開されることと期待する。それぞれの年齢段階の子どもたちがより一層楽しく、夢中になれる保育のあり方という観点から振り返り、話し合いを深めることが大切である。これからも、園児の発達段階や興味を踏まえた上で、教職員が互いに補い合う教育実践への改善・充実がなされるものと期待される。

### ■安心・安全な保育環境の整備について

日常に起こる問題場面に応じて、多くのマニュアルやチェックリストが作られており、それに応じてヒヤリハット事例も含めた研修活動が実施され、効果を上げている。通園バスの運行に関しては、

細心の注意を払い、何重ものセーフティネットが設けられていて、園児の安心・安全を確保のために尽力していることを高く評価する。健康・保健管理については、感染対策や各種検査の実施と日々の指導で保護者の安心感も高まってきていると見受けられる。社会行事等と結びつけた指導場面の設定でさらに充実されたい。また、デバイスツールを活用して家庭との連絡を密にし、迅速に園児たちの情報を共有していることも、保護者の安心感につながっていることと思われる。

#### ■教育活動の記録と活用について

教育実践成果報告書『『あそびの保育』を支える園庭整備の在り方 ―その実践的検討―』は、本園での取組みを観察・記録して解析し、その成果をまとめたものである。研究的教育実践であり、それを実践記録文にまとめた貴重な資料と思われる。これに限らず、日常の園活動の様子を年度毎、分掌毎にまとめて記録して残すことで、将来の保育・教育に有用な情報を提供することができる。一方、各分野の教育計画は規格をそろえて統一するとともに、反省欄を設けるなど次に生かせるものに工夫することが望まれる。

#### ■情報発信・提供について

情報発信・提供については、愛真幼稚園の良さ・特色・持ち味を一般市民に解ってもらう場をもっと工夫することが望まれる。園児にとってのメリットをもっと強調してもよいと思われる。

第三者評価委員 鳥取大学地域学部教授 寺川 志奈子

第三者評価委員 元鳥取市立小学校長 安治 紘紀

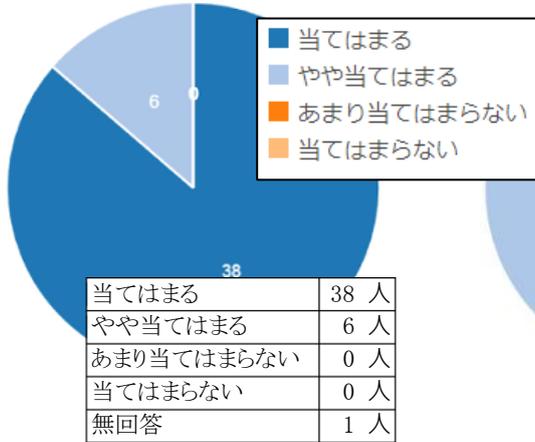
第三者評価委員 鳥取敬愛高等学校長 倭島 慶吾

委員会実施日 2025年3月13日

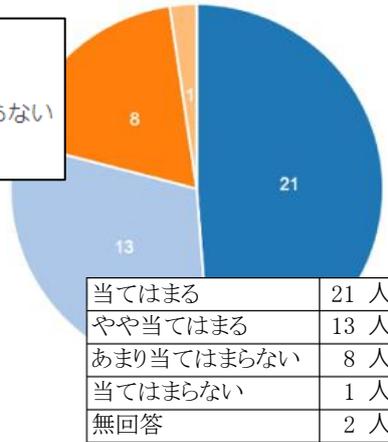
## 2024年度保護者アンケート結果

対象人数 50人 回答人数 45人  
(質問 17～19 は、対象人数 24人 回答人数 22人)

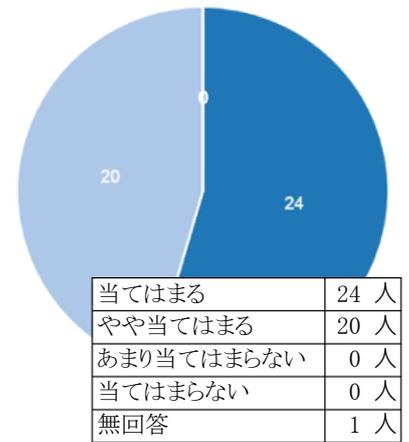
質問 1. 子どもが自然の中での園外保育を楽しんだ



質問 2. 子どもが山登りやハイキングなどを好きになった



質問 3. 子どもが虫や花などに興味を持つようになった



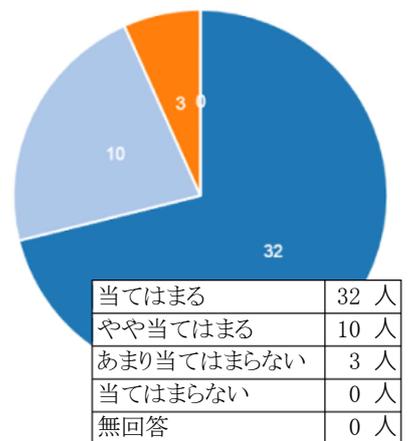
質問 4. 子どもが花や木、生き物を大切にできるようになった



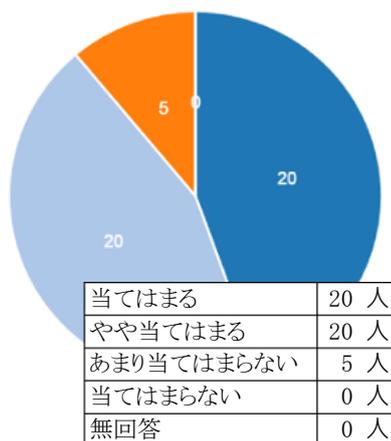
質問 5. 子どもが外遊びを好きになった



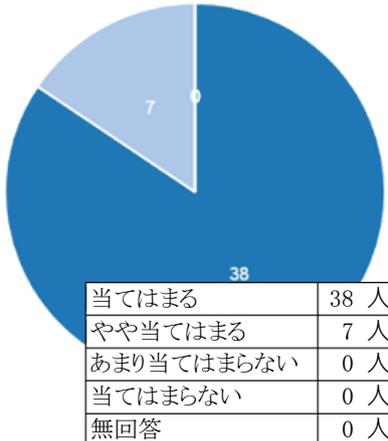
質問 6. 子どもが友達と一緒に運動したり、新たな遊びを工夫したりするようになった



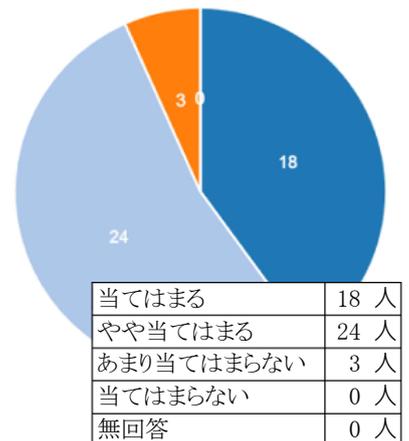
質問 7. 子どもが色々なことにチャレンジするようになった



質問 8. 子どもがのびのびと園で過ごしている



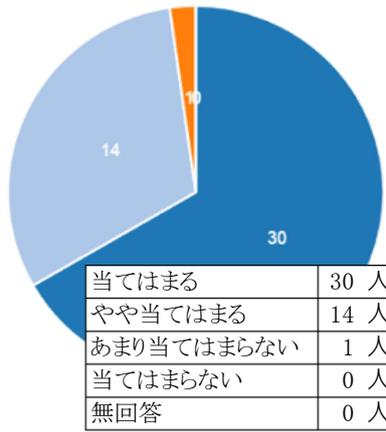
質問 9. 子どもが自分のことは自分でしようとするようになった



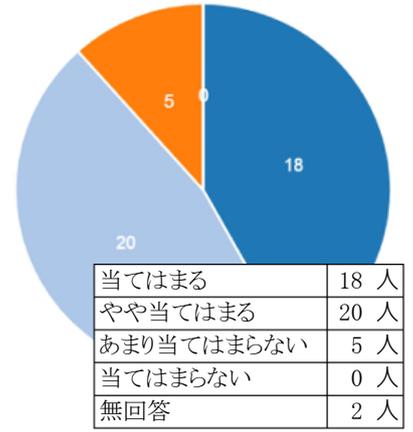
質問 10. 子どもが給食を楽しみにしている



質問 11. 園からの連絡や情報発信が迅速に行われている



質問 12. 子どもの園での様子がよくわかって安心できる



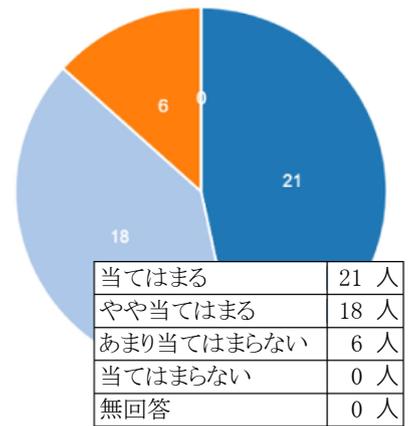
質問 13. 子どものことで園に相談したり、話を聞いたりしやすい



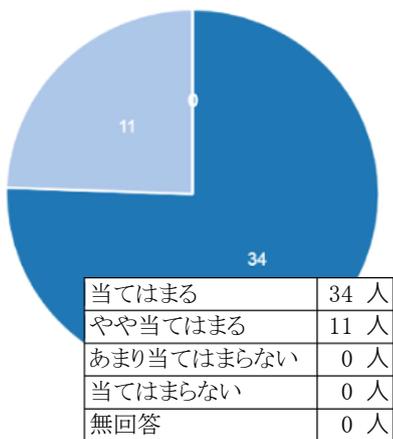
質問 14. 保護者参加の行事などで、子どもと一緒に過ごす時間があって嬉しい



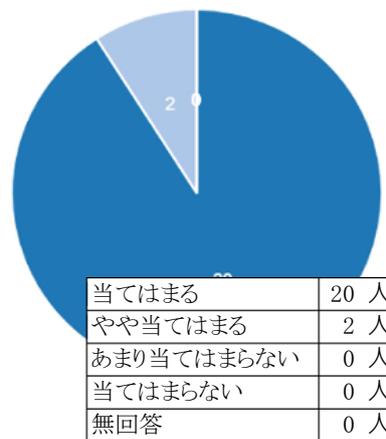
質問 15. 「いつでも〇〇〇〇デー」は保護者参加の日時を選んで参加しやすい



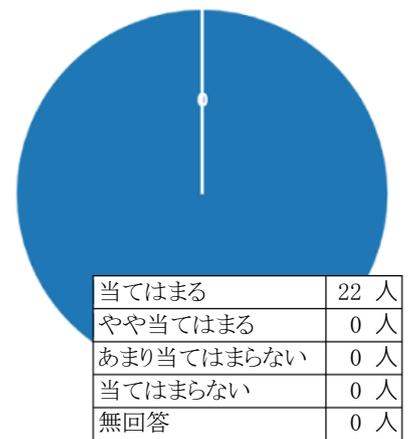
質問 16. 概して園の教育方針や保育を信頼している



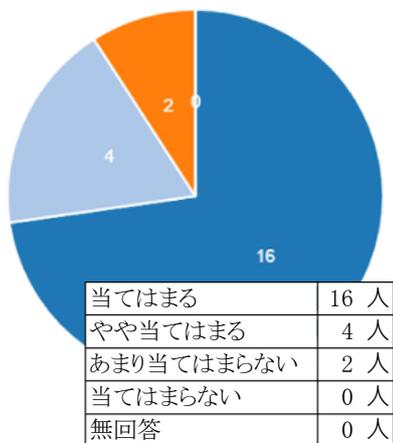
質問 17. 【バス通園利用の方のみ】園バスの位置情報が見られるので、バス待ちの時間が短い、あるいは短く感じる



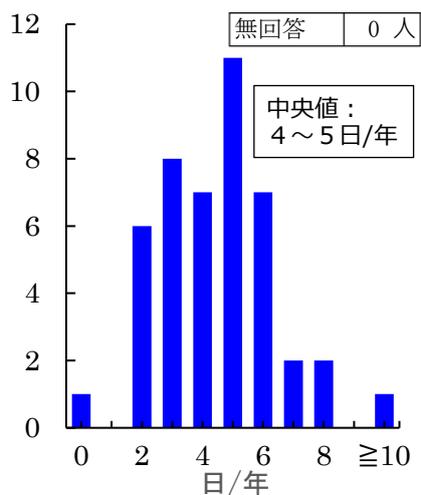
質問 18. 【バス通園利用の方のみ】スマホアプリを使って、通園バスの利用変更や欠席の連絡がスムーズにできる



質問 19. 【バス通園利用の方のみ】子どもがバス通園を楽しんでおり、安心してバス通園を利用できる



質問 20. 平日に行う保護者参加行事は、懇談会等を含めて年にどれ位の頻度がよいですか



質問 21. 休日（週末や祝日）に行う保護者参加行事は、年にどれ位の頻度がよいですか

